



慶應義塾大学グローバルCOEプログラム

# 論理と感性の先端的教育研究拠点

Centre for Advanced Research  
on Logic and Sensibility

公開シンポジウム

## <文化と医療> 再考 人類学と文化精神医学の相互関与性の現在

Rethinking Anthropological and Transcultural Psychiatric Studies on Culture and Medicine: the Challenges of Interdisciplinarity, with Reference to Implications for Advanced Research on Logic and Sensibility

基調講演: **Laurence J. Kirmayer**

(Dept. of Social Studies of Medicine, McGill University)

日時: 2009年2月25日(水) 第I部 / 15:30~17:00 第II部 18:15~20:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館4階 G-SECセミナー室 <http://www.keio.ac.jp/access.html>

Transcultural Psychiatry の世界的拠点である McGill 大学で、同部門所長として数々の研究プロジェクトを組織し、人類学者たちとの共同研究も多く行ってきた Kirmayer 先生をお迎えし、今回は文化人類学-医療人類学-文化精神医学という相互関連性の深い分野の交流セミナーを開催します  
(広範囲にわたる医療人類学の動向を文化精神医学との接点・関与性という地平から確認し、時代や文化・社会の基盤によって異なるあり方を示す身体・感情・論理と文化と医療の問題領域における両分野の相互関連性、ポストコロナリズム、グローバリゼーションの展開によって人類学も文化精神医学も大きく転換しつつある経緯、また、移民・難民への実践的支援を担う医療人類学の動向を検討)

**Laurence J. Kirmayer** (マッギル大学\_文化精神医学)

"Cultural psychiatry, medical anthropology and the challenges of interdisciplinarity"

**清水 透** (慶應義塾大学 ラテン・アメリカ社会史)

「呪医と村人、そして私 ラテン・アメリカ社会史研究から医療民族誌へ、そして現代医療の諸問題へ」

**波平 恵美子**(お茶の水大学名誉教授\_医療人類学)

「日本における文化と医療の研究 医学史から医療人類学まで」

<コメンテーター>

**宮地 尚子**(一橋大学\_文化精神医学・医療人類学)ほか〔Ozawa-de Silva(エモリー大学 社会人類学・医療人類学) 予定〕

<司会・問題提起>

**宮坂 敬造**(慶應大学 文化人類学)

・通訳: Mohacsi Gergely (東京大学 STS 医療人類学) ほか

\* 会費無料・事前登録不要: 皆様のご参加をお待ちしております

主催・企画 慶應義塾大学・相互的感情身体知の文化医療人類学・人間科学研究会  
慶應義塾大学 GCOE「論理と感性の先端的教育研究拠点形成」文化人類学  
共催: 日本文化人類学会関東地区研究懇談会